

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 7 月 7 日 (2016.7.7)

【公開番号】特開 2015-32470 (P2015-32470A)
 【公開日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-010
 【出願番号】特願 2013-161555 (P2013-161555)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/86 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2016.01)

H 0 1 M 8/02 (2016.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/86 M

H 0 1 M 4/86 B

H 0 1 M 8/10

H 0 1 M 8/02 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 5 1 】

本発明の電極基材を構成する不織布は多孔性であることから、面方向においても、排水性およびガス拡散性に優れ、発電性能の高い燃料電池を作製することができるものである。この多孔性は空隙率にして 20 % 以上の多孔性を有するのが好ましい。好ましくは空隙率が 30 % 以上の多孔性を有し、より好ましくは空隙率が 50 % 以上の多孔性を有する。なお、空隙率の上限は特に限定するものではないが、形態安定性の点から 99 % 以下であるのが好ましい。この空隙率 P (単位: %) は次の式から得られる値をいう。

$$P = 100 - (Fr1 + Fr2 + \dots + Frn)$$

ここで、Frn は不織布を構成する成分 n の充填率 (単位: %) を示し、次の式から得られる値をいう。

$$Frn = [M \times Prn / (T \times SGn)] \times 100$$

ここで、M は不織布の目付 (単位: g / cm²)、T は不織布の厚さ (cm)、Prn は不織布における成分 n (例えば、有機樹脂、導電性粒子) の存在質量比率、SGn は成分 n の比重 (単位: g / cm³) をそれぞれ意味する。